

平成24年度 第3回 経営協議会議事要録

日時：平成24年10月29日（月）15：00～17：10

場所：事務局1号館2階会議室

（構成員） 学長，蟻川，工藤，小畑，庄山，関，土井，中島，橋本，理事・副学長(企画・人事担当)，理事・副学長(教育・国際担当)，理事・副学長(研究担当)，理事・副学長(財務・広報担当)，圓川，広瀬の各委員，事務局長

(構成員以外) 清水監事，鈴木監事，丸山副学長，大学院理工学研究科理学系長，大学院理工学研究科工学系長，大学院生命理工学研究科長，大学院総合理工学研究科長，大学院情報理工学研究科長，大学院社会理工学研究科長，大学院イノベーションマネジメント研究科長事務取扱，資源化学研究所長，精密工学研究所長，原子炉工学研究所長，附属図書館長，センター長会議主査，附属科学技術高等学校長，技術部長，関係部課長・事務長

資料

1. 学長所信表明
2. 退任した役員の退職手当について
- 3-1. 国立大学法人東京工業大学理事・副学長及び副学長の職務分担等について
- 3-2. 国立大学法人東京工業大学理事・副学長及び副学長
- 4-1. 役員の服務に関する規則の制定について
- 4-2. 国立大学法人東京工業大学役員の服務に関する規則
- 4-3. 国立大学法人東京工業大学職員の懲戒処分の基準に関する規則
- 5-1. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果（原案）について
- 5-2. 「平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果」への対応（案）
6. 平成23事業年度財務諸表の承認について
7. 平成23年度財政レポート
8. 9月以降の一般会計予算の執行について
9. 平成25年度概算要求について
10. 平成24年度施設整備状況
11. 平成24年度「グローバル人材育成推進事業」の採択事業の決定について
12. 東京工業大学博士課程教育リーディングプログラムの概要
13. 東京工業大学世界文明センターのWebサイトサーバー攻撃及びそれに伴う個人情報流出について
14. 国立大学のミッションの再定義（H24.10.11文科省説明会資料抜粋）

参考資料

1. 経営協議会名簿
2. 国立大学法人東京工業大学役員退職手当規則

席上配付資料

1. 東工大130報告書
2. 環境報告書2011

○ 議事に先立ち，学長から，就任に伴う挨拶があった。

- 学長から、参考資料に基づき、新理事・副学長の紹介があった後、各理事・副学長から挨拶があった。
- 学長から、参考資料1に基づき、新規委員、部局長及び副学長の異動について紹介があった後、新規委員、各部局長及び副学長から挨拶があった。
- 学長から、資料1に基づき、所信表明があった。
- 平成24年度第2回経営協議会議事要録（案）の承認
- 審議事項
 - 1. 退任した役員に係る退職手当について
学長から、資料2に基づき、退任した役員に係る退職手当について説明があり、審議の結果、これを了承した。
- 報告事項
 - 1. 「国立大学法人東京工業大学理事・副学長及び副学長の職務分担等について」の制定について
学長から、資料3-1及び3-2に基づき、理事・副学長及び副学長の職務分担を制定した旨の報告があった。
 - 2. 役員の服務等に関する規則の制定及び職員の懲戒処分の基準に関する規則の一部改正について
事務局長から、資料4-1及び4-2に基づき、役員の服務について、職員就業規則に準じた本規則を制定したことについて報告があった。次いで、資料4-3に基づき、職員懲戒処分基準規則について、職員から役員となり引き続いて職員となった者の役員在職中の非違行為について、懲戒処分を可能とする一部改正を行ったことについて報告があった。
 - 3. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
岡田理事・副学長から、資料5-1及び5-2に基づき、国立大学法人評価委員会から、「平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）」が提示された旨の報告があり、評価結果への対応案についての説明があった。
 - 4. 平成23事業年度財務諸表の承認について
大谷理事・副学長から、資料6に基づき、平成23事業年度財務諸表の承認について報告があった。
 - 5. 平成23年度財政レポートについて
大谷理事・副学長から、資料7に基づき、平成23年度財政レポートに説明があった。

6. 運営費交付金の留保について

大谷理事・副学長から、資料8に基づき、運営費交付金の留保について説明があった。

7. 平成25年度概算要求について

大谷理事・副学長から、資料9に基づき、平成25年度概算要求について報告があった。

8. 平成24年度施設整備状況について

岡田理事・副学長から、資料10に基づき、平成24年度施設整備状況について報告があった。

9. グローバル人材育成推進事業の採択について

丸山理事・副学長から、資料11に基づき、国際化拠点整備事業費補助金（グローバル人材育成推進事業）について、本学から申請した「タイプB：特色型」が採択された旨の報告があった。

10. 平成24年度博士課程教育リーディングプログラムの審査結果について

丸山理事・副学長から、資料12に基づき、平成24年度博士課程教育リーディングプログラムに申請した5件について、審査の結果、1件が採択された旨の報告があった。

11. 世界文明センターのWebサイトサーバー攻撃及びそれに伴う個人情報流出について

大谷理事・副学長から、資料13に基づき、9月15日（土）に発生した、世界文明センターのHP改ざん及び個人情報の流出について報告があった。

○ 大学運営の諸問題について

1. 国立大学のミッションの再定義について

学長から、資料に基づき、国立大学のミッションの再定義について説明があった後、意見交換が行われた。

主な意見は以下のとおり。

- ・ 10年先位までの大きな目標を、もっと明確にすべきである。
- ・ 企業では、短期的な研究開発が多くなってきているので、東工大には基礎研究をしっかりやり抜くということを強く外部に示してほしい。また、20年、30年先を見据えたテーマというのは難しい問題が多いと思うが、それをやらない限り日本の強みというのは出てこないのでは、是非それをやってほしい。
- ・ 文系、理系関係なく、いろんな専門性を持ちバランス感覚をもった人間を育てていくということを、このミッションではっきりしてほしい。
- ・ これからの社会をリードしていく人間にはエンジニアとしての素養があるということが非常に大事になると思うので、研究だけではなく、ビジネスあるいは、MBA・MOTと

というような形で、社会をリードする人材を如何に育てるかをまず明らかにすることが必要ではないか。

- 東工大の強みは、基礎から応用まで、専門的なリサーチの取組が強いところだと思う。こういう強みを生かして、機構やセンターが作られていると思うが、それが何につながるかのアウトカムが見えない。これを上手に示すことができれば、東工大の特徴というものが浮かび上がってくるのではないか。
- 日本の経済不振の根拠にあるのは、ものづくりの競争力の低下にあると思う。そこを教育面から供給する、知力を供給するという社会貢献の姿勢をもっと強調してはどうか。
- 東工大には、昔から優れた文系の教員がおり、しっかりした教養教育体制があると思う。それに加えて、近年は4大学連合という形でもう少し膨らんだ訳なので、教育面、研究面、社会貢献、ガバナンス、それぞれについてもう少し具体的な提示をした方がいいのではないか。
- 最近、特定分野の専門家だけでは処理しきれない課題がたくさんあると思う。研究面、教育面ともに、専門・分化ということと、統合なり総合ということをどう兼ね合わせるかの仕掛けづくりが必要ではないか。
- 「優れた理工人材を輩出するための人格形成」という表現だが、人格というのは、広い分野からの教養とかいろいろなものによって形成されるものではないか。その上で、専門として理工系を伸ばしていくような、そんな形のほうがよいのではないか。

○ その他

1. 東工大130事業について

岡田理事・副学長から、席上配付資料1に基づき、東工大130事業について説明があった。

2. 環境報告書2011について

辰巳理事・副学長から、席上配付資料2に基づき、本報告書について説明があった。

3. 次回開催

総務課長から、次回は、平成24年1月21日（月）15：00から、事務局1号館2階会議室で開催する旨の案内があった。